

坂町文化財 No.22

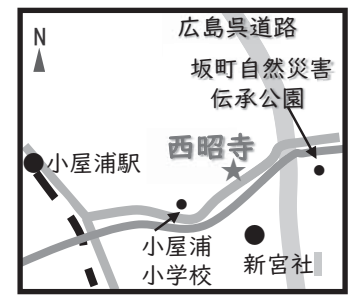
23回シリーズで坂町文化財保護委員の皆さんが、史跡案内看板設置箇所をご紹介します。見慣れた町の風景に新しい発見がありますように。

まちをぶらり～澗法山西昭寺～

小屋浦駅前にある坂町自然災害伝承公園の案内看板の矢印のとおりに進んで行くと、西昭寺に着きます。西昭寺は、今から183年前の天保12年に、この地に西林寺10世道宣師が阿弥陀如来堂を再建し、明治12年に西林寺の支坊となりました。その後、寺号許可申請書を提出し、昭和17年、行人師のとき寺号が許可され、澗法山西昭寺として歩み始めました。



地区住民の心の拠り所であり、2階の本堂は、有事の際、指定緊急避難場所*として対応します。
*災害が発生、または発生するおそれがある場合に、命を守るために緊急的に避難する場所。



西昭寺から坂町自然災害伝承公園へは徒歩3分程度

平成30年7月豪雨災害では1階が土砂に埋まる

あたたかい心のともしび

つぎの方々から、福祉事業資金としてご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

- ◎一般寄附者
- 藤澤 泉 (坂西三丁目)

よろこび

おめでとうございませう
11月届出分 敬称略

- 平井 楓斗 (坂東二丁目)
- 成松 楓 (坂西一丁目)
- 磯方 寿珠 (平成ヶ浜一丁目)
- 松澤龍之介 (平成ヶ浜一丁目)
- 徳永 凌季 (平成ヶ浜二丁目)
- 笹尾 知希 (平成ヶ浜二丁目)
- 宇野心太郎 (平成ヶ浜五丁目)
- 木坂 陽依 (植田四丁目)

かなしみ

おくやみ申し上げます
11月届出分 敬称略

- 吉野 恵 (坂東二丁目)
- 中村八重子 (坂東四丁目)
- 山崎ハル子 (坂西三丁目)
- 竹田 淑子 (横浜中央二丁目)
- 吉井 健三 (植田三丁目)
- 二艘木弘美 (91) (水尻)
- 藤原 忠志 (78) (小屋浦三丁目)
- 佐藤 房江 (93) (小屋浦四丁目)

このコーナーに掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。



今月の休日当番医

診療時間 9時～17時30分 休診時間 13時～14時

日付	坂町・熊野町	府中町	海田町	広島市安芸区
1日 (月)		しみずハート内科クリニック ☎283-8010	海田心療内科メンタルクリニック ☎823-5500	
2日 (火)		行徳皮膚科アレルギー科 ☎287-1560	岸本医院 (眼科) ☎823-6298	
3日 (水)		向洋こどもクリニック ☎287-3266	海田よつ葉クリニック (内科・外科) ☎562-2100	
7日 (日)	梶山医院 (内科) ☎854-2771	ちくいクリニック (脳外科・内科) ☎286-7788	よしだ内科呼吸器科 ☎821-2512	わかさ整形外科 ☎820-0222
8日 (月)		こさか内科 ☎281-4482	山野上内科クリニック ☎823-7272	中山内科医院 ☎892-3118
14日 (日)	高橋整形外科クリニック ☎854-2222	スガタ整形外科医院 ☎285-6522	かわもと皮膚科 ☎820-0101	くしだ耳鼻咽喉科 ☎893-3387
21日 (日)	クリニックたなべ整形外科 ☎884-4155	永田内科医院 ☎285-0808	かいたいちウイメンズクリニック (婦人科) ☎822-8343	さなだ内科クリニック ☎820-3001
28日 (日)	はまもと皮膚科 ☎855-2662	瀬戸ハイム内科 ☎285-0816	たんきょう眼科 ☎824-3131	きむらクリニック (内科・胃腸科・放射線科) ☎820-0522

受診を迷うときは、#8000こどもの救急電話相談 (毎日、19時から翌朝8時まで)、#7119成人の救急電話相談 (24時間365日) もご利用ください。

今月の納税

口座振替日 1月26日 (金)	1月31日 (水)
口座振替の登録をされている方は、口座振替日の前日までに残高の確認をお願いします。	町県民税.....第4期分 国民健康保険税.....第7期分 介護保険料 (1号).....第10期分 後期高齢者医療保険料.....第7期分

坂町の人口と世帯

(12月1日現在)

男	6,106人 (前月比+6)
女	6,608人 (前月比+6)
計	12,714人 (前月比+12)
世帯数	5,813世帯 (前月比+14)

坂町史

第118回 坂町のいまむかし (刎条地区亥の子神楽の風景)

昨年の11月、4年ぶりに刎条地区亥の子神楽が刎条集会所で開催されました。鬼斬り舞では、綱さばきの名人渡辺綱が登場し、子鬼を捕えられ逆上した親鬼と大決闘しました。



刎条地区の神楽は、8景の演目で構成されています。当日はあいにく、インフルエンザの流行で子どもの舞は中止でした。

「神楽を伝承していくことも大事だが、神楽があることで、子どもから大人まで繋がりができる。そういう場所を残していきたい。」と語るのは、刎条地区亥の子神楽保存会代表の刎本正照さん。
子どもの人数が減っている昨今、地域の宝である子どもたちが、渡辺綱や鬼を演じ続けられるよう伝承を守り続けてほしいと願います。



第7景 (鬼斬り)